

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）「防災・安全」事後評価書										平成28年5月2日	
計画の名称		多治見市における循環のみの実現(防災・安全)									
計画の期間		平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）				交付対象		多治見市			
計画の目標											
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
計画の成果目標（定量的指標）											
①池田下水処理場の緊急地震対策実施率を0%（H22）から100%（H26）に増加させる。（その他関連事業含む） ②合流式下水道改善のために汚濁負荷量（BOD年間放流負荷量）を113t（H22）から97t（H26）に減少させ、分流式下水道並みにする。 ③中央幹線及び面整備管の地震対策実施率を0%（H22）から100%（H26）に増加させる。 ④下水処理施設における長寿命化計画策定率を0%（H22）から100%（H26）に増加させる。 ⑤多治見処理区における浸水想定区域図策定率を0%（H24）から100%（H26）に増加させる。 ⑥地域防災計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレの設置率を75%（H24）から100%（H25）に増加させる。 ⑦多治見市池田排水区の雨水排水対策を7年確率50mm/h対応の施設として100%整備するためにポンプ場を増設する。整備率0%（H24）から整備率17.6%（H26）											
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考
								当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
		①池田下水処理場の緊急地震対策実施率 緊急地震対策実施済箇所数（箇所）／緊急地震対策の必要な箇所数（箇所）						0.0%	37.5%	100.0%	
		②合流式下水道改善（汚濁負荷量の削減） BOD年間放流負荷量（t/年）により算定（※BODの数値が大きいほど汚れていると判断）						113t/年	108t/年	97t/年	
		③中央幹線及び面整備管の地震対策実施率 耐震化または減災対策実施済の中央幹線及び面整備管の延長（km）／耐震化または減災対策が必要な中央幹線及び面整備管の延長（km）						0.0%	60.0%	100.0%	
		④下水処理施設における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの下水処理施設数（箇所）／長寿命化計画を策定が必要な下水処理施設数（箇所）						0.0%	100.0%	100.0%	
		⑤多治見処理区浸水想定区域図策定率 浸水想定区域図策定済箇所数（箇所）／浸水想定区域図策定が必要な箇所数（箇所）						0.0%	0.0%	100.0%	
		⑥地域防災計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレの設置率 マンホールトイレ設置済み数（箇所）／マンホールトイレを設置すべき数（箇所）						0.0%	75.0%	100.0%	
		⑦多治見市池田排水区の雨水排水対策を7年確率50mm/h対応の施設として100%整備するためにポンプ場を増設する。 実施設計・資材購入／ポンプ場完成						0.0%	0.0%	17.6%	
全体事業費		合計 (A+B+C)	1384百万円	A	1284百万円	B	0百万円	C	100百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	7.2%
事後評価											
○事後評価の実施体制、実施時期											
実施体制						事後評価の実施時期			公表の方法		
社会資本総合整備計画の事後評価として多治見市で実施						平成28年4月28日			多治見市公式ホームページ		

交付対象事業																	
A 1 下水道事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1. 多治見処理区																	
A1-1-3	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	水処理	改築	池田下水処理場（地震対策）	耐震診断、EXP.J設置 N=3箇所	多治見市						57.6	地震対策
A1-1-4	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	合流	新設	池田下水処理場（合流改善）	高速沈殿池（37,000㎡・BOD除去率75%以上）	多治見市						381.0	合流改善
A1-1-5	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	汚水	改築	中央幹線及び面整備管（地震対策）	φ=200～2400mm L=2.3km	多治見市						69.3	地震対策
A1-1-6	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	水処理	改築	長寿命化調査・設計（長寿命化・処理場）	計画・調査・設計	多治見市						50.0	長寿命化
A1-1-11	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	雨水	全種	浸水想定区域図策定（浸水対策）	調査・計画	多治見市						20.0	浸水対策
A1-1-12	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	汚水	新設	マンホールトイレ設置（地震対策）	マンホールトイレ N=15箇所	多治見市						72.0	地震
A1-1-14	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	汚水	改築	長寿命化管渠更新（長寿命化・管渠）	□2100～2400mm L=1Km	多治見市						420.0	長寿命化
A1-1-15	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	雨水	増設	土岐川右岸ポンプ場増設（浸水対策）	ポンプ場（7.2m3/s）	多治見市						87.0	浸水対策
4. 全域																	
A1-4-1	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市		全種	効率的な事業実施のための検討等	検討資料作成 一式	多治見市						40.0	
A1-4-2	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	汚水	全種	長寿命化調査・設計（長寿命化・管渠）	計画・調査・設計	多治見市						87.5	長寿命化
小計（下水道事業）															1,284.4		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
C1-1-14	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	汚水	改築	長寿命化管渠更新（長寿命化・管渠）	φ250～700mm L=1.4Km	多治見市						100.0	長寿命化
合計															100.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

2 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する交付金対象事業の効果の発現状況		多治見市における循環のみの実現に向けた取り組みとして、河川や海の水質保全のため、計画的かつ効率的に下水道を整備することで、池田下水処理場の機能向上、下水道処理人口普及率の目標を達成した。 これにより、市民が永続的に日常生活の中で実感できる、安全・安心かつ衛生的な暮らしが実現に寄与できた。				
II 定量的評価の達成状況	指標① 池田下水処理場の緊急地震対策実施率を増加させる。	最終目標値	100.0	%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100.0	%		
	指標② 合流式下水道改善のために汚濁負荷量（BOD年間放流負荷量）を減少させ、分流式下水道並みにする。	最終目標値	97.0	t/年	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	97.0	t/年		
	指標③ 中央幹線及び面整備管の地震対策実施率を増加させる。	最終目標値	100.0	%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100.0	%		
	指標④ 下水処理施設における長寿命化計画策定率を増加させる。	最終目標値	100.0	%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100.0	%		
	指標⑤ 多治見処理区における浸水想定区域図策定率を増加させる。	最終目標値	100.0	%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100.0	%		
	指標⑥ 地域防災計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレの設置率を増加させる。	最終目標値	100.0	%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	100.0	%		
	指標⑦ 多治見市池田排水区の雨水排水対策を7年確率50mm/h対応の施設としてポンプ場を増設する。	最終目標値	17.6	%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
		最終実績値	18.2	%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		下水道整備など生活排水対策について、市民満足度が向上した。 H22調査 -0.27 ⇒H26調査 -0.04				
3 特記事項（今後の方針等）						
今後も引き続き、計画的かつ効率的に下水道整備を進めていき、一人でも多くの市民が安全・安心かつ衛生的な日常生活が実感できるように、事業を進めていく。						

(参考様式3) (参考図面) 社会資本総合整備計画 (水の安全・安心基盤整備)

[illegible]